



芝山鉄道の皆さん

地域社会の発展に  
貢献できる鉄道でありたい

芝山鉄道は、本年10月に20周年を迎え、累計1,280万人を超えるお客様にご利用していただくことができました。これも、今までご支援いただいた方々のおかげであると感謝しています。

これまでの20年を振り返り、一番印象に残っているのは、開業日のことです。一番列車には「日本一短い鉄道」として朝早くから多くの鉄道ファンにご乗車いただきました。

また、改札口では古代人に扮した中学生たちが、サンダーソニアを配るなど、当日は3,000人以上の方々にぎわいました。

近年は、鉄道利用者が減少し厳しい状況ではありますが、一人でも多くの方に利用していただけるよう、町とも協力して取り組んでいきたいと思っております。

私たち芝山鉄道は、常に安全を追求し開業以来継続している「無事故運転」を続けるとともに、今後も通勤通学の手段や生活の足としての役割を果たし、地域社会の発展に貢献してまいります。皆さまのご利用をお待ちしています。

また、20周年を記念したマグカップなどのグッズや記念乗車券を販売する予定です。詳細は、近日中に芝山鉄道ホームページに掲載しますのでご確認ください。



▲芝山鉄道所属車両



相川勝重 前芝山町長

今までもこれからも  
地域とともに発展してほしい

芝山鉄道開通20周年、誠にありがとうございます。工事着工から路線開通に携わった前町長として、20周年を迎えられたことをとても嬉しく思います。

芝山町長に初当選した際、公約の一つであった「芝山鉄道の開通」。背景にはさまざまな課題がありました。

その中でも特に印象に残っているのは、一坪共有地を所有している方への協力依頼です。約900人一人一人に「町の発展のために土地を使わせてください」といった内容の文書を出すなど、開通に向け身を砕いて取り組みました。

所有者全員の同意を得ることはできませんでしたが、多くの方々の努力により芝山鉄道が開通し、利用者の皆さんに「芝山鉄道があって良かった」と言っていたときは、今までの苦勞が報われたような喜びを感じたことを今でも覚えています。

芝山鉄道には、利便性の向上や利用促進などさまざまな課題があると思います。しかし、そのような状況でも、町や社員の皆さんをはじめ地域一丸となって知恵を出し合い、地域と空港の架け橋として利用者の期待に応えていただきたいと思います。



▲開業式典の様子

## CONTENTS

October.2022

10

No.578  
神無月

◎  
もくじ

- 2……芝山鉄道開通20周年
- 3……特集 変わる、広報
- 6……町からのお知らせ  
・マイナンバー・保育所入所・  
胃がん検診 他
- 15……意外と知らない役場の仕事 (vol.5)
- 18……町のイベントレポート
- 20……くらしの広場
- 24……町公式インスタグラム

10月の納期	納付期限 10月31日(月)
国民健康保険税	4期
町県民税	3期
後期高齢者医療保険料	4期
介護保険料	4期
納税は便利な口座振替で!	

「広報しばやま」は、新聞折込みにて配布しております。

— 特集 —

# 変わる、広報

広報しばやまは、第1号（当時は「町報芝山」）が発行された昭和47年から今年で50年目を迎えました。

こうして50年間発行できたのは、取材などに協力してくれた方や毎月読んでくださる皆さんのおかげです。

でも、広報を読んでいない方がいるのも事実です。中には「難しいから読んでいない」「自分に必要な情報が分からない」という方もいます。町の現状や頑張っている人の姿、知ってもらいたい町の様子を取材すること。町民の皆さんの視点に立って、記事を考えること。

それは、広報のイメージを変え、もっと多くの方に読んでもらうため。そして、大人、子ども、外国籍の方、障害を持った方、年配の方、読者一人一人に必要な情報を分かりやすく、正確に伝えるため。

時代やデザインが変わっても、担当者の思いは変わりません。

今月号では「もっと読みやすい広報」を目指し、町民の皆さんに広報に対するイメージや求めていることを伺ったアンケート調査の結果と、読みやすく変化した部分を紹介します。

どうすれば町の情報をもっと多くの方に伝えることができるか—。

歴代の広報担当者から50年間ずっと受け継がれてきた

変わらない思いがあるからこそ、変わります。

